

令和2年度 第2回 日進市子ども施策推進委員会 議事録要旨

日時 令和2年10月30日（金）午後2時から

場所 日進市役所本庁舎4階 第1会議室

出席委員 津金美智子、伊藤龍仁、南千景、高田由紀、衣川友紀、関根聖美、齋藤由美、牛田由美子、
早川真理、早川里美、野澤宏之、井上晴子

欠席委員 なし

事務局 子育て支援課 棚瀬課長、三好補佐、味岡係長

傍聴可否 可

傍聴有無 2名

<次第>

- ・あいさつ
- ・議題
(1) 第二期日進市子ども・子育て支援事業計画の推進について
- ・その他

<議事録要旨>

- ・あいさつ

【委員長】(あいさつ)

- ・議題(1) 第二期日進市子ども・子育て支援事業計画の推進について

【事務局】(基本目標1の評価対象項目(案)について説明)

【委員】個別目標1の2項目「民間認可保育所支援」と「認定こども園整備支援」の選定は妥当であるとする。この項目では、幼稚園を認定こども園への移行を促していくことを想定しているのか。

【事務局】教育・保育のニーズの多様化に対応するため、必要に応じて幼稚園から認定こども園への移行を促していくことを想定しています。

【委員】「幼児教育アドバイザーの配置」とあるが、今のところどのような運用がなされているのか。

【事務局】現状は、配置人数の都合等により、必要なところから順次巡回しています。今後は、新規開設施設や既存施設への質の向上のために支援を広げていく必要があると考えています。

【委員長】「幼児教育アドバイザー」は、講師が各園に出向いて研修等を行うもので、外部の研修に派遣することが難しい状況の中で、質の向上につながるものとして必要を感じている。この事業を展開することが、子どもたちの健やかな成長につながっていくものであり、大切な制度であるとする。

【委員】「民間児童クラブ支援」及び「民間児童クラブの誘致」の数字をみると、平均として20人から30人の比較的小規模な児童クラブを増加させていくということか。また、「放課後児童クラブ(放課後子ども総合プラン)」についても、定員の増加を掲げているが、施設を整備していくということか。

【事務局】学校区によりニーズが異なることから、ニーズに応じて柔軟な対応をしていきたい。「放課

後児童クラブ（放課後子ども総合プラン）」の定員拡大については、場所の確保も含めて検討していくこととなります。

【事務局】（基本目標2の評価対象項目（案）について説明）

【委員】「子育て支援センター」の項目があるが、アウトカムをどのように設定していくのか。

【事務局】例えば、令和6年度の目標値に対する達成率などが考えられます。ただ、それだけでは、市民の満足度は図れないため、個別目標1の「地域における子育て支援サービスの充実」の満足度が図れるような指標を模索していきたいと考えています。

【事務局】（基本目標3の評価対象項目（案）について説明）

【委員】ここ最近、孤独な育児が増加しているように感じている。出産時や入院中に立ち合いや面会ができなかったという話も聞いている。出産後の睡眠不足等で育児に対する不安を訴える方が多い印象があるので、しっかり支援をしていく必要がある。基本目標3は主に健康課の事業が多いが、健康課だけでなく子育て支援課など関係課と連携して支援を行ってほしい。特に「養育支援訪問」や「産後ケア事業」などは、スムーズに必要な方に支援が届けられるようにしてほしい。

【委員長】コロナ禍もあり、育児に不安を抱えている方は多いと思うので、関係課が連携して支援をしてほしい。

【委員】「こんにちは赤ちゃん訪問」は、出産後の最初のアクションとして重要と感じてる。平成30年度の実績も全戸には達成していない。この状況のなか、この項目が選定されていないのはなぜか。

【事務局】基本目標5の個別目標2の事業として「居所不明児童への取組」を挙げており、居所不明等の児童へのアプローチは推進していく一方で、支援につながる相談という視点では、「乳幼児健康診査」が一つのきっかけとなることから、「乳幼児健康診査」を選定候補としました。

【委員】「子育て支援機関の連携」は評価対象項目になっていないが、子育て支援機関の連携は重要であると考えます。支援が必要な可能性のある世帯があれば、随時各機関が連携して支援計画を立てていく必要があるように思う。この指標を評価に置いてはどうか。

【事務局】ここでの「子育て支援機関の連携」については、市内の子育て関連施設の関係者が一同に会して相互に情報交換等を行う機会としており、連携強化につなげていければと考えています。定期的に意見交換の場を確保するという目標であるため、選定項目からは外しています。なお、先ほど、ご意見のありました個別ケースについては、随時関係機関が集まり協議を行っています。

【事務局】（基本目標4の評価対象項目（案）について説明）

【委員】「補助教員の配置」については、特別支援学級に通学する児童・生徒も増えていることから、介助員の配置も含まれています。また、スクールソーシャルワーカーについては、「すべての中学校に」と記載されていますが、正確には、「すべての中学校区」であり、その中学校区内の小学校についても対応しています。

【委員】個別目標1の「青少年健全育成事業の充実」の内容に、「子どもたちが自ら考える企画・運営事業を実施します。」と記載があるが、市が実施していくのか。

【事務局】令和2年度は市の事業として実施しています。今後は、今年度の実施状況を踏まえて検討していくこととなります。

【事務局】（基本目標5の評価対象項目（案）について説明）

- 【委員】幼稚園に通いながらすくすく園に週1～2回通っている児童が増加するなか、お互い多忙ななかではあるが、相互に連携が密に取れるとよい。
- 【事務局】保護者からも要望のある部分ではあるので、できることから検討をしていきたい。
- 【委員】未就学児への支援施設であるすくすく園は、定員に達している状況で待機がある。また、市内の他の事業所も定員が埋まっている状況であるので、もう少し拡充されるといいのではないかと考えている。次に、「個別の教育支援計画の導入」については、作成が義務付けられているところであるが、正確に作成されていなかったり、その計画に基づいて運営がなされていないことも見受けられるので、そのあたりの進捗も確認できるといいのではないか。
- 【事務局】障害児に対するニーズや課題は奥深いものがあると考えています。本計画は、本市の子ども・子育ての基礎となる計画で、より詳細な事業計画については、「日進市障害者基本計画」のように個別の計画に委ねています。
- 【事務局】（基本目標6の評価対象項目（案）について説明）
- 【委員】全般的な話になるが、評価項目の選定にあたり、他の事業計画で進捗管理されている事業や、市の裁量が少ない事業がどの事業であるか、この資料からは把握しにくいと思うがいかがか。
- 【事務局】今すべてご説明するのは難しいので、次回以降のところでは資料提供させていただきます。
- 【委員】「放課後等デイサービス」等に関連して、コロナ禍で障害児を家でみているのが大変であるとのニュースをみたが、日進市の障害児に対するサービスの手厚さの現状が気になっている。
- 【事務局】本計画は、コロナ禍以前に作成したものであるが、今後の計画の進捗管理にあたっては、コロナ禍による社会情勢の変化に伴うニーズの多様性を加味しながら進めていきます。
- 【委員】本委員会のなかで「連携」というキーワードがよく出てきた。各事業が進捗しても、それらの連携が図れないと、課題の解消につながらないことが少なくないことが感じられた。また、資料のなかにも記載のあった「地域学校協働活動の推進」のように、旧来の取組を今日の社会情勢にあったかたちにして実施することで、地域で子どもたちの成長を見守っていくことが大切であると改めて感じた。

・その他

- 【事務局】「民間企業の地域貢献活動の活用」に関する進捗報告
- 【委員】少子化対策先進国では、出産世帯に自治体からお祝いが配られているように、紹介のあった「ハピハピボックス」を、新生児訪問時に配布することはできないのか。
- 【事務局】案内を配布することは可能であると考えているが、「ハピハピボックス」を配布するのは難しいと考えている。現在は、歯ブラシ等を配布しています。
- 【委員長】他に無ければ、以上で第2回子ども施策推進委員会を終了します。

（閉会） 午後3時45分